

開発パイプライン表(2024年1月31日現在)

- ・ この表には当社グループが日本・米国・中国・欧州において承認取得を目指す適応症に関する臨床試験を掲載しており、全ての臨床試験は掲載していません。
- ・ 同じ地域・適応症で複数の試験がある場合は、最も進んでいる開発段階の試験のみを記載しています。
- ・ 開発段階の変更基準は、治験届受理日としています。

1. 精神神経領域

製品／コード名 (一般名)		予定適応症	地域	開発段階
低分子	SEP-363856 (ウロタロント塩酸塩)	統合失調症	米国	フェーズ 3
			日本・中国	フェーズ 2/3
		大うつ病補助療法(aMDD)	米国	フェーズ 2/3
		全般不安症(GAD)	米国・日本	フェーズ 2/3
		パーキンソン病に伴う精神病症状	米国	フェーズ 2
	ラツォダ (ルラシドン塩酸塩)	(新用法:小児)統合失調症	日本	フェーズ 3
	EPI-589	パーキンソン病	米国	フェーズ 2
		筋萎縮性側索硬化症(ALS)	米国	フェーズ 2
			日本	フェーズ 2 (医師主導治験)
	SEP-378614	未定	米国	フェーズ 1
	SEP-380135	未定	米国	フェーズ 1
	DSP-0038	アルツハイマー病に伴う精神病症状	米国	フェーズ 1
	DSP-0187	ナルコレプシー	日本	フェーズ 1
	DSP-3456	治療抵抗性うつ	米国	フェーズ 1
DSP-0378	ドラベ症候群、レノックス・ガストー症候群	日本	フェーズ 1	
DSP-2342	未定	米国	フェーズ 1	
再生・細胞 医薬	CT1-DAP001/DSP-1083 (他家 iPS 細胞由来ドパミン神経前駆細胞)	パーキンソン病	日本	フェーズ 1/2 (医師主導治験)
			米国	フェーズ 1/2 (医師主導治験)
	HLCR011 (他家 iPS 細胞由来網膜色素上皮細胞)	網膜色素上皮裂孔(RPE tear)	日本	フェーズ 1/2

2. がん領域

製品／コード名 (一般名)	予定適応症	地域	開発段階
TP-3654	骨髄線維症	米国・日本	フェーズ 1/2
DSP-5336	急性白血病	米国・日本	フェーズ 1/2
DSP-0390	膠芽腫	米国・日本	フェーズ 1
TP-1287	固形がん	米国	フェーズ 1
TP-1454	固形がん	米国	フェーズ 1

3. その他領域

製品／コード名 (一般名)	予定適応症	地域	開発段階
ジェムテサ (ビベグロン)	(新効能)前立腺肥大症を伴う過活動膀胱	米国	フェーズ 3
ビベグロン	過活動膀胱	中国	フェーズ 3
SP-101	嚢胞性線維症	米国	フェーズ 1/2
KSP-1007	複雑性尿路感染症、複雑性腹腔内感染 症、人工呼吸器関連肺炎を含む院内肺炎	米国・日本	フェーズ 1